ビキニ水爆実験関連資料一覧表

No. 書名 資料/逐刊 著作者 複写の範囲 1 原爆症調査研究協議会環境衛生小委員会報告 資料(論文集) 実名の個人 各論文の半分まで 2 われら水爆の海へ: 俊鵑丸ビキニ報告 資料 実名の個人(共著) 半分まで 3 無態への影響 名		
2 われら水爆の海へ: 俊鵑丸ビキニ報告		
3 新潟市に於ける放射能雨及び汚染空気 第1報 環境及び 生態への影響 〈新潟医学会雑誌第69巻第11号別刷〉		
3 生態への影響 〈新潟医学会雑誌第69巻第11号別刷〉		
4 放射能汚染魚類に関する資料 資料 団体名義 全頁可 5-a 1956年核爆発実験影響調査報告書(陸上検査の部) 資料(論文集) 実名の個人 各論文の半分まで 5-b 1956年核爆発実験影響調査報告書(陸上検査の部)別冊 資料 実名の個人 半分まで 6 原爆被害対策に関する調査研究連絡協議会委員等名簿 資料 団体名義 全頁可 日本に降った人工放射性雨(日本学術会議放射線影響調査特別委員会地球物理班報告No.1) く天文と気候9月号抜 変刊 実名の個人 全頁可 第7 場所、爆の放射能による魚体並に漁業に及ぼす影響につい では調査研究発表の経過rと其の収録 実名の個人 実名の個人 半分まで 第2 が産物に対する放射線の影響に関するシンポジウム(化学 班) く昭和31年度日本農学大会水産部会資料> 資料(論文集) 実名の個人 各論文の半分まで 14 指定港における水揚げ魚類放射能検知成績 注)昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカード またまで 15 昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカードままで 15 昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカードまで 15 昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカードまでは 15 昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカードを 15 昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカードを 15 昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカードを 15 昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカードを 15 昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカードを 15 昭和35年所蔵目録に関する 15 昭和35年所蔵目録 15 昭和35年所蔵目録に関する 15 昭和35年所蔵目録に関する 15 昭和35年所蔵目録に関する 15 昭和35年所蔵目録 15 昭和35年所蔵目録 15 昭和35年所蔵目録 15 昭和35年所蔵目録 15 昭和35年末報 15 昭和35年 15		
5-a 1956年核爆発実験影響調査報告書(陸上検査の部) 資料(論文集) 実名の個人 各論文の半分まで 5-b 1956年核爆発実験影響調査報告書(陸上検査の部)別冊 資料 実名の個人 半分まで 1956年核爆発実験影響調査報告書(陸上検査の部)別冊 資料 実名の個人 半分まで 日本に降った人工放射性雨(日本学術会議放射線影響調査特別委員会地球物理班報告No.1) < 天文と気候9月号抜 実名の個人 全頁可 全頁可 全頁可 全頁可 全頁可 上記書研究発表の経過rと其の収録 資料 実名の個人 半分まで 資料 実名の個人 半分まで 資料 実名の個人 半分まで 資料 実名の個人 半分まで 10 日本農学大会水産部会資料 資料 実名の個人 本語文の半分まで 10 日本農学大会水産部会資料 注)昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカードを表する場合の放射能汚染に関する調査(案) 注)昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカードを表する場合の放射能汚染に関する調査(案) 注)昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカードを表する場合で表する調査を開始する場合に対しています。 1956年 1956		
5-b 1956年核爆発実験影響調査報告書(陸上検査の部)別冊 資料 実名の個人 半分まで 6 原爆被害対策に関する調査研究連絡協議会委員等名簿 資料 団体名義 全頁可 7 日本に降った人工放射性雨(日本学術会議放射線影響調査特別委員会地球物理班報告No.1) < 天文と気候9月号抜 変刊 実名の個人 全頁可 8 原水爆の放射能による魚体並に漁業に及ぼす影響につい 資料 実名の個人 半分まで 9 水産物に対する放射線の影響に関するシンポジウム(化学 近次ででは、		
6 原爆被害対策に関する調査研究連絡協議会委員等名簿 資料 団体名義 全頁可 7 日本に降った人工放射性雨(日本学術会議放射線影響調査特別委員会地球物理班報告No.1) <天文と気候9月号抜 変刊 実名の個人 全頁可 8 原水爆の放射能による魚体並に漁業に及ぼす影響につい 資料 実名の個人 半分まで 9 水産物に対する放射線の影響に関するシンポジウム(化学 班) <昭和31年度日本農学大会水産部会資料> 資料(論文集) 実名の個人 各論文の半分まで 10 指定港における水揚げ魚類放射能検知成績 注)昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカー14 近海マグロ漁場の放射能汚染に関する調査(案) 注)昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカートキー水爆実験の漁業等に及ぼす影響に関する調査(案) 注)昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカートキー水爆実験の漁業等に及ぼす影響に関する調査(案)		
7 日本に降った人工放射性雨(日本学術会議放射線影響調査特別委員会地球物理班報告No.1) <天文と気候9月号抜 変刊 実名の個人 全頁可 8 原水爆の放射能による魚体並に漁業に及ぼす影響について:調査研究発表の経過rと其の収録 実名の個人 実名の個人 半分まで り 水産物に対する放射線の影響に関するシンポジウム(化学 近) <昭和31年度日本農学大会水産部会資料> 資料(論文集) 実名の個人 各論文の半分まで 10 指定港における水揚げ魚類放射能検知成績 注)昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカートキー水爆実験の漁業等に及ぼす影響に関する調査(案) 注)昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカートキー水爆実験の漁業等に及ぼす影響に関する調査(案) 注)昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカートキー水爆実験の漁業等に及ぼす影響に関する調査を無網 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
8 原水爆の放射能による魚体並に漁業に及ぼす影響について:調査研究発表の経過rと其の収録 9 水産物に対する放射線の影響に関するシンポジウム(化学班) <昭和31年度日本農学大会水産部会資料> 10 指定港における水揚げ魚類放射能検知成績 注) 昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカール・エール爆実験の漁業等に関する調査(案) 注) 昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカール・エール爆実験の漁業等に及ぼする調査(案) 注) 昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカール・エール爆実験の漁業等に及ぼする調査(案)		
8 て:調査研究発表の経過rと其の収録 9 水産物に対する放射線の影響に関するシンポジウム(化学		
9 水産物に対する放射線の影響に関するシンポジウム(化学 班) <昭和31年度日本農学大会水産部会資料> 10 指定港における水揚げ魚類放射能検知成績 注) 昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカー 11 近海マグロ漁場の放射能汚染に関する調査(案) 注) 昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカートキー水爆実験の漁業等に及ぼす影響に関する調査要網		
9 <u>班) <昭和31年度日本農学大会水産部会資料> </u>		
## 10 指定港における水揚げ無類放射能検知成績 注)昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカー 11 近海マグロ漁場の放射能汚染に関する調査(案) 注)昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカー ドキュ水爆実験の漁業等に及ぼす影響に関する調査要網		
11 近海マグロ漁場の放射能汚染に関する調査(案) 注)昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカービキニ水爆実験の漁業等に及ぼす影響に関する調査要網		
ビキー水爆実験の漁業等に及ぼす影響に関する調本亜細		
12 12 12 13 14 15 16 17 17 17 17 17 17 17		
/エ/トロイロシンサーアハル、ロッホンに記載めるバ、中大小別゙・修官時のグ	ード目録なし。現物なし	
13 ビキニ海域水爆影響調査現況経過 注)昭和35年所蔵目録に記載あるが、中央水研へ移管時のカー	ード目録なし。現物なし	
14 ビキニ海域における放射能影響調査報告(第1輯) 資料 団体名義 全頁可	innentinen om it di bin den om om om in di d	
15 ビキニ海域における放射能影響調査報告(第2輯) 資料 団体名義 全頁可		
16 昭和29年におけるビキニ海域の放射能影響調査報告(第 注) No.14と同一資料		
一部)		
17 昭和29年におけるビキニ海域の放射能影響調査報告(第2 注) No.15と同一資料		
丰富!		
18 1956年におけるエニウエトック原爆実験の影響調査報告 資料 団体名義 全頁可		
19 19 19 19 19 19 19 19		
ドキュ調査船依頼力の調査結果についてくい衆衛生年報		
20 第2巻第1号別刷 全頁可		
21 死の灰かぐら: 原水爆の農水産業に及ぼす影響 資料(論文集) 実名の個人 各論文の半分まで		
22 再びビキニの水爆実験をめぐって:水爆実験と公海の自由 変刊 実名の個人 全頁可		
23 「直接損学」と「間接損学」: ビキニ賠償問題補論〈ジュリス 変刊 実名の個人 全頁可		
²⁶ ト No.72>		
24 C 十二小爆放音に関する情質関係質科 12 12 12 13 14 14 15 15 15 15		
水爆実験の日本海業に及ぼした社会経済的影響と豊政研		
26 穴爆失線の日本温楽に及ばらた性芸性が明治者へ展成が 資料(論文集) 実名の個人 各論文の半分まで		
放射能影響の水産学的研究(中間報告・Ⅲ <日本学術		
[
28 放射能影響の水産学的研究(中間報告-IV <日本学術 資料(論文集) 実名の個人 各論文の半分まで		
[
29 放射性物質による障害豫防勧告 資料 団体名義 全頁可 30 核白髪実験影響調査報告書(陸上検査の部) 注) No.5と同一資料		
30 核白髪実験影響調査報告書(陸上検査の部) 注) No.5と同一資料 は優柔実験影響調本報告書 別四(時上検索の部)「林餅		
31 <mark>核爆発実験影響調査報告書 別冊(陸上検査の部)「放射</mark> 性落下塵および雨水の系統的分析法 注) No.5と同一資料		
32 1956年核爆発実験影響調査測定値集 資料(論文集) 実名の個人 水産庁以外の著者の章	は、その章の半分まで	
33 ビキニ被災事件処理経緯 注) 外務省の許可必要		
放射性物質の影響と利用に関するロ米会議報告 1954年		
35 俊鶻丸による「ビキニ」水爆調査報告書(俊鶻丸によるビキ 資料(論文集) 実名の個人 各論文の半分まで		
二水域調査/浦久保五郎はか 他4編)		
放射能汚染魚に関する研究(I魚体組織の放射能につい スペロネル充党会誌、第20巻10日即即2、H 放射宗教会		
36 て<日本水産学会誌 第20巻10号別刷>; II 放射定性分 析結果について<日本水産学会誌 第20巻10号別刷>; II 放射定性分 を真可		
研稿果についてく日本水産学会誌 第20巻10号別刷ク;		
毎新に及ばす故財能物質の影響(第1報)毎旧良法水堤(ř		
37		
38 昭和37年における中部太平洋の放射能調査報告 資料 団体名義 全頁可		
39 原水爆被害調査研究報告(医学関係) 資料(論文集) 実名の個人 各論文の半分まで		
40 放射線医学総合研究所年報 昭和38年度 p.231-232「被 変刊 実名の個人 全真可		
「爆10年後におけるヒキニ被災者の臨床的観察ー予報」 「これ」		
│ 41 放射線医学総合研究所年報 昭和38年度 p.151-152「ビ 逐刊 実名の個人 全頁可		
11- 11- 11- 11- 11- 11- 11- 11-		
42 加海口部:美国航後隔光 [2十二海域調査机海 昭和29年 資料 団体名義 全頁可		
第20時中国全国全済料(4 ビキニ水爆神宝関係対策に		
43 第20日 日本国		
1/4 第20·21国会資料 第一編問題編 (p.52 第9部 3ビキニ _{答料} 日は名義 今百司		
44 水爆被害関係対策について) 具科 団体石報 工具可		
第20·21国会資料 第一編問題編 (p.44 第9部 3ビキニ _{資料} 団体名義 全頁可		
小爆似音関係対象について)		
46 第22国会資料 (p.70 第9水産 7ビキニ水爆被害関係対		
第25回臨時国会国会資料(草稿)①米国のエニウエトック		
「理难にもはる技事段対事後要用係指事は偿更おについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
47 ②ビキニ原爆実験被災事件に伴う補償金に対する課税問 資料 団体名義 全頁可		
題について		
4g 第26会通常国会資料 (p.27 第1部水産業の現勢と問題点 _{答料} 団体名素 全真可		
48 (3)遠洋漁業の現状) 資料 団体名義 主負可		
第26国会国会資料:重要事項編 (p. 水7 水産庁 6英国 資料 団体名義 全頁可		

50 第27臨時国会国会資料 (p.158 水産庁2 核実験による 漁業損害について) 資料 団体名義 全頁可 51 第30臨時国会国会資料 (水産庁3 その他重要事項(6) 太平洋における核実験について) 資料 団体名義 全頁可 52 大臣引継資料 昭和29年11月 (ビキニ水爆被害関係対策 について) 資料 団体名義 全頁可 53 大臣引継資料 昭和29年12月 (第10水産庁 1 ビキニ水 爆被害関係対策について) 大臣引継資料 昭和31年4月 (水産庁第2 今国会におい 大臣引継資料 昭和31年4月 (水産庁第2 今国会におい て問題となった重要事項及び今後問題となるべき事項 資料 団体名義 全頁可 全頁可 日体名義 全頁可 日体名義 全頁可 日本名義 全页可 日本名義 日本名義 全页可 日本名義 日本名義 日本名義 全页可 日本名義 日本名義	
大田引継資料 昭和29年11月 (ビキニ水爆被害関係対策	
52 について)	
数据書関係対策について) 日本日報 日本日本日報 日本日報 日本日本日報 日本日報 日本日報 日本日報 日本日報 日本日報 日本日報 日本日報 日本日報 日本日報	
54 て問題となった重要事項及び今後問題となるべき事項 資料 団体名義 全頁可	
大臣引継資料 昭和32年7月 (第10水産庁 3 その他重 55 要なる問題事項 (二)クリスマス島周辺海域における英国 資料 団体名義 全頁可 の核実験について)	
大臣引継資料 昭和33年3月 (米国のエニウエトックにお 資料 団体名義 全頁可	
57 大臣引継資料 昭和33年6月 (米国及び英国の太平洋に おける核実験について) 資料 団体名義 全頁可	
58 大臣事務引継資料 昭和37年7月18日(米国の核実験につ 資料 団体名義 全頁可	
59 政務次官引継資料 昭和32年1月31日 (32 英国のクリス 資料 団体名義 全頁可	
60 事務次官引継資料 昭和31年6月25日 (水産庁 12 米国 資料 団体名義 全頁可	
61 農林省関係放射能調査年報 昭和32-36年度 資料 団体名義 全頁可	
62 昭和29年度水産研究所年報 (p.101 調査船運航 1.俊鶻 丸による調査概要 ; p.108 C利用皿放射能に関する調査 資料 団体名義 全頁可	
63 昭和31年度水産研究所年報 (p.90 C利用部皿放射能に よる汚染状況調査) 資料 団体名義 全頁可	
64 大富士丸による放射能並マグロ延縄漁獲物調査報告 資料 団体名義 全頁可	
65 俊鶻丸ビキニ調査報告(遠資パンフレット2) 資料 団体名義 全頁可	
66 <mark>ハワイ東南海域マグロ漁場調査概要 昭和33年度第2次</mark> (大富士丸)	
67 <u>調査報告:まぐろ資源:大富士丸</u> 注)ビキニ水爆と関係のない資料	
68 水爆実験と日本漁業 資料 実名の個人 半分まで	
69 1954年5-7月 俊鶻丸調査 関連資料 	